

取組概要

佐伯東小学校では、算数の研究校として「単元構想（学習計画の作成）」「既習事項の活用」「個に応じた指導」を進めるとともに、各種調査等分析を定期的（月1回）に行い、取組の進捗確認・検証や取組指標等の改善等に取り組んでいる。

工夫・ポイント

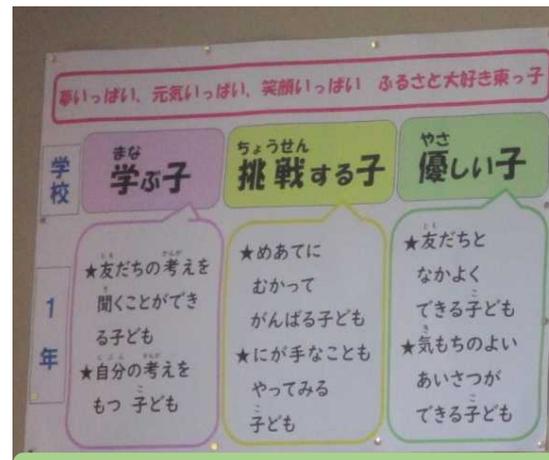
- ◆単元の学習計画を掲示し、子どもの自覚的な学びを促している。
- ◆既習事項から課題の解決に必要な情報の取り出しができるように掲示するとともに、既習とのズレやギャップから課題設定ができるよう導入の工夫をしている。
- ◆単元末テストを統一し、学年をまたいだ実態把握ができるようにし、取組の検証・改善を進めている。

特徴的な活動

- ◆校務分掌・学校教育目標達成チームを組織し、各種調査結果分析を行い、取組のアイデアを出し合い、取組の方向性や具体的な取組を共有している。
- ◆すべての学級で、算数の学習計画を作成・掲示している。
- ◆one noteを活用し、欠席連絡や連絡事項等を共有するとともに、重要事項一覧（文書・提出物等）を作成し、教職員間でシンプルに情報共有している。

関係者の声

- ◆チーム会議では多様なアイデアが出される。児童の状況等を踏まえながら、アイデアを関連付けたり焦点化したりして、取組の方向性が確認できている。
- ◆ICTを活用した校務の効率化により、子どもと向き合う時間や自分の業務に充てる時間が確保できている。



学校の教育目標・学級目標の掲示



月ごとの自己評価を位置付けためあて



単元の学習計画

5年算数「体積」